



1 ITのプロとして夢を拓け!

デジタル人材の育成を推進する本校の大学校化が決まるなど、期待が高まる本校の入学式が、4月5日(金)に開催され、新入生59人が新たな学びをスタートさせました。

入学式の宣誓では、新入生を代表して、飛田美優さん(勝田工高卒)が壇上に立ち「新たな決意と希望を持って技術と人格の鍛錬に努めたい」と誓いの言葉を述べました。酒井雄一学校長から、将来のIT社会を担う新入生に「自己管理に努め時間を有効に活用し、ITのプロとして夢を実現して欲しい」との式辞がありました。



入学宣誓をする飛田美優(勝田工高卒)さん



呼名される新入生



知事メッセージを代読する榮課長



新入生を迎える桜

2 みんなの母校訪問①

県立水戸商業高等学校

「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一翁も訪れた県立水戸商業高等学校は、明治35年に開校し、今年で創立122年を迎える県下有数の歴史と伝統のある高校です。渋沢栄一翁は、若者を前に経済と道徳の調和について講演を行っています。広戸純校長からは「水商の卒業生の皆さん、がんばれ!!」とエールをいただきました。



広戸純校長



県立勝田工業高等学校

平成20年に県内唯一の単位制総合工学科となり、創立60年目を迎える学校です。工業の専門教科に加え社会人基礎力の育成にも力を入れ、日本のものづくり産業を支える人材を輩出しています。勝田工業高等学校からは、本校に多くの卒業生が入学しています。浜田健志校長からは「気合」と志賀栄文教頭から「AI(愛)の力」とエールをいただきました。



浜田健志校長 志賀栄文教頭

3 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事＞ 朝日新聞(2024年4月14日)
天声人語「青春は・・・」

◇要約……………

●野村未結さん(水戸二高卒)

若い時には、可能性という道路がどこまでもある。AIを使用したフェイクがあふれるが、見極める力は人との交流でしか培われない。大学は、安心して何度でも失敗の経験が積める場所でありたい。挑戦を続けていこう。



◇感想……………

●大内沙月さん(水戸商高卒)

構造的な差別はなくさなければならぬという言葉があったが、IT短大をはじめIT業界での女性の活躍は少なめである。その為、女性の人気を高めることのできるような技術者を目指すことも一つの目標になると思った。



●高橋諒さん(勝田工高卒)

私は、石川県立看護大学の学長の「命の尊さ忘れず、学ぶことをスタートして下さい」との言葉が印象に残った。災害で多くの命が失われたが、その人たちを忘れず前を向いて進んで欲しいとの願いだ。私も頑張っていきたい。

